

3 牡鹿地区の観光支援

新たな観光拠点から、半島の魅力発信。

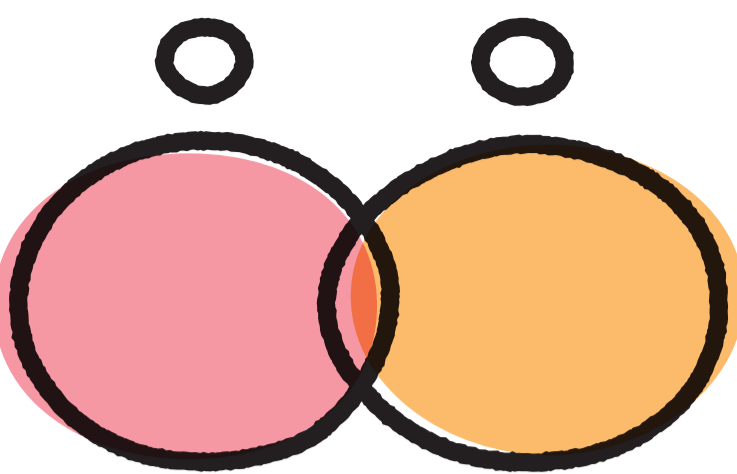
現在は
オープンが待たれる
おしかホールランド

施設を運営する鮎川まちづくり協会の役員で、地元で長く補綴文化を支えてきた外房補綴株式会社鮎川事務所の所長を務める大塚孝之さんには、商業補綴の再開について教えていただきました。これにより、船上処理済みの新鮮でおいしいクジラ肉が手に入るようになり、希少な部位の

鮎川港東側の広大な敷地が広がる「ホエールタウンおしか」は、3つの施設が連結。観光物産交流施設「cotu(こつ)」では、観光インフォメーションセンターのほか、離島航路の発券所と待合所、飲食店や土産販売店の7店を利用することができます。「cotu」に隣接するのが「三陸復興国立公園 牡鹿半島エリアの自然」この地域の人の暮らしについて紹介する「牡鹿半島ビジターセンター」そして、震災による津波で失われてしまった「おしかホールランド」も整備が進んでいます。

鮎川浜に誕生した
注目のニューススポット

3月14日に予定していた「鮎川浜の新しい魅力発見バスツアー」は、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。そのため、3月31日の紙面では、新たな賑わいの発信地として期待が高まるホエールタウンおしかを中心に、「牡鹿エリアのニュースや見どころ」レポートしました。



今できること プロジェクト

2019年度

一歩ずつ、 思い描く明日へ。

年を重ねるごとに、
風化の一途をたどる東日本大震災の記憶。
それでも、まだまだ多方面で支援が求められる中、
私たちにできることは何かを考え、
2019年度もこのプロジェクトがスタート。

4つのテーマを柱に、
河北新報読者や賛同企業の皆さまと同じ思いを重ね、
新たな活動を展開していきました。

プロジェクトは
これからも皆さんとともに進んでいきます。

今年度におけるプロジェクトの活動はこれといった完了となりませんが、今年度も新たな支援や体験ツアーなどを企画中です。真の復興のために今、何が出来るかを皆さまと一緒に考え、その思いや学びを共有しながら、より人の輪を広げていきたいと考えています。
2020年度活動のスタートを切る際には、また、河北新報紙面とホームページ、フェイスブックでお知らせいたします。リアルタイムの情報は、フェイスブックの記事でお伝えしていきますので、引き続きご覧いただけますようお願いいたします。

皆さんは、どんな支援活動をしていますか？どんなプログラムに参加してみたいですか？
復興の実情を、どう感じていますか？
皆さんの声を、今できることプロジェクトのホームページにお寄せください。

www.kahoku.co.jp/imadeki/ 河北 今できること 検索

facebookページもあります。

1 自然環境整備ボランティア

憩いが生まれる海岸林の再生と実りの喜びを。

現在は
海岸林再生のために
さらなる支援の手を
思い出とともに

巨理名物「はらこ飯」と温かい豚汁を味わうランチタイムで英気を養った一行は、被災高齢者のコミュニティ再生と生きがいを目的とする「おらほの畑」で、農作業体験にチャレンジ。わたりグリーンプロジェクトが栽培に力を入れている落花生を収穫しました。この日掘り出し

集いの森を作り出す
植樹活動を支援
震災前は、海沿いに約1200本の大きな木が生い茂っていた巨理町東部沿岸部。浜風と高潮の被害から内陸部の住宅や田畑を守ってきた海岸林が再生するため、2015年から「NPO法人わたりグリーンベルトプロジェクト」が植樹活動を続けてきました。今できることプロジェクトでは、同団体が押し進めている「おらほの森」づくりをお手伝いするボランティアバスツアーを11月2日に実施。49人の参加者が、清々しい秋晴れの下、植樹に汗を流しました。



今できることプロジェクトの活動記念プレート

Enjoy WATARI

https://www.enjoywatari.com/



ごろごろと実った大きな落花生 マツ原は支柱を添えてしっかりと植樹

2 地域のコミュニティ活性化支援

復興を目指す港町に響く希望のメロディー。

現在は
より発展を続ける
賑わいの中心地に
思い出とともに

復興が進むとともに大きな変化が訪れた女川町では、地域コミュニティの再編を求め、声が高まっています。そんな地域の素晴らしを再確認する機会づくりとして、11月16日に町民の方を招待した「懐かしい女川」に会える映画鑑賞会を開催しました。会場となったのは、女川町役場庁舎内にある生涯学習センターホール。右巻市の「オカダプランニング」のスタッフが35フィートの映写機2台を設置し、1961年に製作された岩下志麻、津川雅彦主演のラブストーリー「あゝ波の果てまで」を上映。上映のスクリーンで上映しました。物語の中間、旧女川駅当時の商店街、船着き場の賑わいなどが映し出され、観客の視線を釘付けに。上映後、エキストラで出演したという町民の方は、「当時の記憶が鮮明によみがえりました」とうれしそうに感想を伝えてくれました。

スクリーンに魅了
約60年前の街並み
中から特に印象深いものを選んで、ボウイ東さんがギターを手に取り、軽快な旋律にのせて歌詞を口ずさむと、応援ソングが完成。全員で合唱練習した後、ロケ撮影を行いました。音響スタッフのOKに、会場が盛りあがると、会場は拍手でいっぱい。女川の空で、名付けられたこの応援ソングは後日CDとして参加者の元へ届けられました。



シンガーソングライターの伊東さん

な復興を願いながら、古き良き女川も忘れずに継承して欲しいと思っています。す」と語ってくれました。



参加者から聞き取ったワードを書き出す伊東さん 最も歌声が多かった女川みなとまつりのワンシーン ©1961松竹株式会社

こちらのQRコードから応援ソングを聞くことができます。

4 こども未来応援教室

地域の将来を担う子どもたちのために。

宮城県自動車整備振興会

今年度は、宮城トヨタ自動車の協力を得て、実車によるエンジンやタイヤ点検、自動車走行するための仕組みを学ぶ授業を行う予定でした。宮城県自動車整備振興会は、子どもたちに整備士の仕事について職場体験を通じて知ってもらう機会づくりを積極的に行っています。そして、自動車整備士の人材確保と育成を掲げながら、交通の安全と安心を守る整備点検の必要性を広く伝えていきたいと考えています。



予定していた授業/自動車整備士ってどんな仕事だろう！

大和証券

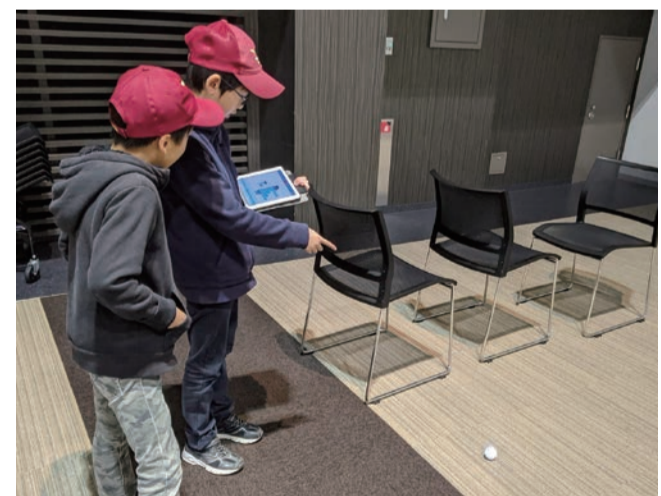
金融や株式について楽しく学べる授業を新たな講師を迎えて行う予定でしたが、皆さんにお会いできなくて残念に思います。大和証券では、国連が採択したSDGs(持続可能な開発目標)の達成を課題に掲げ、さまざまな社会貢献活動に取り組んでおり、質の高い教育をたくさんの子どものために受けられる環境づくりに賛同しております。今後は、経済や社会を知り、生きる力を身に付ける学びの創出に努めてまいります。



予定していた授業/「お金のひみつ」会社って、株式ってなに？」ワークショップ

ソフトバンク

今年度の教室では、先端の端末に触れてもらいながら、小型ロボット「Sphero mini(スフィロミニ)」を動かすプログラミングを学んでもらう予定でした。ロボットを思い通りに動かすためには、何度も失敗を繰り返しながら考えを重ね、プログラムの完成を目指します。同じように子どもたちには、日々の勉強のなかで障害にぶつかってもあきらめず、次にどうしたら良いか「考える力」を養って欲しいと願っています。



予定していた授業/楽しく学ぶ! Sphero mini(スフィロミニ)プログラミング教室

3月1日に予定していた「こども未来応援教室も、残念ながら中止となりました。子どもたちが目指すべき将来を思い描き、未来への期待を高めてもらうことを目的とした「社会科学習」を担当する予定だったプロジェクト賛同企業も、開催を心待ちにしていました。そんな3社からメッセージが届いています。

©後援/宮城県、仙台市、石巻市、名取市、亶理町、女川町、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、名取市教育委員会		あしたを、つなぐー 野村不動産グループ		伝承千年の宿 佐勤	
企画・制作/河北新報社営業局(今できることプロジェクト事務局)		野村不動産		一般社団法人 生命保険協会 宮城県協会	

今できることプロジェクトは賛同企業38社の大きな支援によって活動しています。					